

(別紙)

平成29年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：循環型社会システム構築大学連携事業

事業実施期間：平成29年度～平成31年度

担当課室名：循環型社会推進課

担当班名：リサイクル推進班

TEL: 022-211-2649

e-mail: junkanr@pref.miyagi.lg.jp

URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/>

1 事業の目的

平成28年3月に策定した宮城県循環型社会形成推進計画（第2期）の中で重点課題となっている「小型電子機器等リサイクル制度の推進」のため、国立大学法人東北大学との共同研究により、具体的な希少金属等リサイクルシステムの構築に向けて、金属くずとして排出されている産業廃棄物等の実態を調査し、宮城県における希少金属等リサイクルシステム構築に向けた各種検討や取組みを実施した。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

(1) 県内調査

- ① 平成28年度循環資源活用可能性調査の結果の精査
- ② 循環資源の現状調査
- ③ 二次原料の利用促進に向けた調査

(2) 広域調査及び先進技術調査

- ① 県外の事例等調査
- ② 本業務に関わる技術の整理

(3) 実証試験の準備

- ① 一般廃棄物中への小型家電の投棄量等の分別調査
- ② 収集試験の実施可能箇所との調整
- ③ 次年度以降の技術研究支援策検討等の検討

(4) 普及啓発

- ① セミナー開催
- ② 連絡協議会開催

(5) 循環型システム構築のための基本モデルの作成

3 当該年度の実施事業の成果

(1) 第2期循環計画で目標としていた全市町村が小型家電リサイクル制度に取り組む状況はほぼ達成されたが、県における小型家電リサイクル制度による小型家電回収量は、全国水準の20%程度となっている。そこで、全県的に政令指定28品目全てを回収することを目指したみやぎ方式小型家電リサイクルシステム案を作成した。

(2) 金属リサイクルセミナーを2回、連絡協議会を2回開催し、希少金属等のリサイクルに関する情報提供などを行った。

4 今後の展開

(1) みやぎ方式小型家電リサイクルシステム案を検証するため、試験的に不燃ごみからのピックアップ回収やイベント回収を行い、回収した小型家電の運搬費用や処理後物から発生する有価物・廃棄物の比率から処分費用を算出することで、当該システムの事業採算性等を明らかにする。

(2) 第2期循環計画のもう1つの重点課題である「食品廃棄物等のリサイクルの推進」に関する取組に着手する。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：小型家電リサイクル制度に取り組む市町村数)

単位：市町村

| 平成25年度 | 平成28年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| 14 | 28 | | | |

6 事業費の推移

単位：千円

| 平成29年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 22,039 | | | | |